



# 加古だより

加古小学校通信  
令和5年7月号  
No.15 (331号)

## 自分で考えるからこそ力がつく！

校長 吉田 博明

### <高学年の家庭学習がすごい！>

高学年で取り組んでいる家庭学習の取組。今まで先生に出されていた宿題だけでなく、自分の力を知り、どうやったら自分がわかるようになるのかを考える。そして自分に必要な学習を自分で考えて取り組んでいます。先日、その取組を自分で振り返った感想を見せてもらいました。小学生ですが、なかなか高度な感想にビックリ！6年生の感想を、少し見てみましょう。

- 間違えた問題をもう一度解いたり、まとめたりすると力になると思います。
- 自分の力になった方法は、ポイントを書いたり復習で分からなかったところを勉強したりしたことです。2～5年生の勉強もしました。ペンや色鉛筆を使ってまとめました。
- 一番力の付いた勉強は、5年生の単元のまとめです。5年生の問題は忘れてしまっているから力がついたと思います。
- 頑張ったことは、テストは教科書から出ているので、教科書の図を描いて覚えるようにしたことです。
- テストの結果を踏まえて、次どうするかを考えて計画できたと思います。結果を踏まえて勉強することが大切だと思いました。
- 計算ドリルをするより（先生が出す宿題は計算ドリル）、ノートをまとめる方が力になって、予習ばかりじゃなく復習もこまめにする方がいいことがわかりました。
- 学校で習っていないこともノートにまとめたり、5年生の時の学習などをすると、力がついたのでいいと思う。
- 計算ドリルの問題を、図を使って解いたり、その考え方を書くのも力になった。
- ノートをまとめることです。理由は、学校でするだけじゃなくて、もう一回するとより覚えられて、テストなどでちゃんと答えられるからです。
- いっぱい計算したら、自然とその公式とか覚えられた。
- 計算ドリルの問題で、式をそのまま書くんじゃなくて、私は割合が苦手だから、文を書いてよく読んだり、口を使う問題だったら関係図を書いたりして、わかりやすくしたら力がつくと思いました。
- ノートまとめが力がつきました。二学期はしっかりまとめます。

どうですか？私たち大人が小学生だったころ、こんなことを考えていたでしょうか？明日から長い夏休みに入ります。じっくり自分と向き合って、これまでの学習を振り返るいい機会です。「自分で考える」からこそ力がつきます。いい夏休みを！